

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

■94■

私の出身地、岡山は、讃岐うどんで有名な香川の対岸ということもあってか、圧倒的にそばよりうどんが食べられる。電話番号サイトで検索すると、うどん店が約300件ヒットするのに対し、そば店は約170件。今や全国に知られるぶっかけうどんは、実家のある倉敷のうどん店が発祥とも言われる。

群馬で同様に検索すると、うどん店が約620件。人口は、群馬が全国18位の194万人、岡山が20位の189万人（2020年、総務省「国勢調査」）と驚くほど近いので、県民1人当たりのうど

群馬のうどん

慣の東西の差が、こんなところにながかわれる。うどん店の数を見るに、群馬では岡山以上にうどんが食べられるのだろう。実際、祖母がうどんを打ったとか、ご飯と一緒に出る汁物がうどんだったと話を聞かすが、岡山で育った私にはそうした記憶がない。小麦の産

岡山との比較考

ん店は、何と群馬が2倍。そして興味深いことに、そば店も約620件ヒットする。つまり、両方出す店も多いのだ。そばを食べる習

地かどうかの差だろうか。他にもうどん文化に違いがあり、岡山ではうどんにコシがあり、かけ汁は透明。平べったいうどんを出す店は少なく、肉汁につけて食べることも多い。

う。そもそも全国に、群馬と岡山を比較する人は何人いるだろう。それだけ群馬、そして関東から岡山は遠い。岡山出身と言つて、たまに受ける質問は「岡山と広島、どちらが手前？」。こちらで育つと、神戸以西の地理を覚えにくいのだろう

岡山間が新幹線で3時間20分と話して「短い」と驚かれたこともある。どれだけ遠いところと思っていたのか。ただ、かく言う私も恥ずかしながら、東京より北の県の位置は長い間記憶が曖昧だった。だから、群馬で働く自分の姿は想像したことがなかった。

る。ただ、そんなことに頭を巡らすのは、きっと群馬で私だけだ。岡山がうどん好きと知る人はほとんどいないだろうし、岡山に関心を持つ人も少ないだろう

う（答えは岡山。念のため）。かつて松江支店への赴任が決まった際は、同期から「四国？」と反応されて衝撃を受けた（松江は島根、松山が愛媛）。東京

度「我慢大会」単身赴任も伴うわが国の転勤制もある。群馬とのせつかくの縁を、うどんのように太く長いものにしたいと思う。

渡辺真吾（わたなべ・しんご） 1972年生

まれ。岡山県出身。東京大経済学部卒、米シシガン大で経済学博士号取得。95年に日本銀行入行後、大阪支店営業課長や金融研究所経済ファイナンス研究課長などを経て、2020年9月から現職。

